

事業計画書

自 2015年 4月 1日
至 2016年 3月31日

一般社団法人 日本マスターズ水泳協会
東京都千代田区三崎町3-2-8
グランバレー三崎町7階

2015年度事業計画書

(2015年4月～2016年3月)

1. 今年度の活動方針

マスターズ水泳の普及をより促進するための土台作りの年度と位置付ける。そのために以下の項目を今年度の活動方針とする。

- ・登録者増を図るための具体的施策を策定し組織を構築する。
- ・世界マスターズへの取り組みを検討する。
- ・将来を見据えたシステム(規程・組織・ITシステム等)の構築を目指す。

2. 事業計画

2015年度の当協会事業を以下の通り予定する。

(1) 普及促進、指導者の養成(定款第4条 第1項(1))

① 指導者・競技役員講習会

マスターズ水泳の指導者・競技役員およびスイマーのための講習会を東京・愛知・大阪の3会場において開催を予定する。

② 水泳の日

水泳の普及を促進するために、公益財団法人日本水泳連盟・一般社団法人日本スイミングクラブ協会・日本障がい者水泳協会と共同で「水泳の日」を8月14日に東京辰巳国際水泳場(東京都江東区)にて開催する。

③ 日本水泳連盟加盟団体との連携

マスターズ水泳の普及のために、日本水泳連盟加盟の都道府県並びに競技種目の各団体との連携を強化する。

(2) 競技規則の制定(定款第4条 第1項(1))

国際競技規則の変更に伴う国内競技規則の改定・通知を実施する。

(3) 競技会の開催(同 第1項(4))

① 日本マスターズ水泳短水路大会

4月5日より5月31日までの期間、全国25会場(別紙)にて開催する。
25,000人の参加を予定する。

② 日本マスターズ水泳選手権大会(ジャパンマスターズ2015)

7月16日より20日までの期間、東京辰巳国際水泳場にて開催する。
6,700人の参加、11,540種目を予定する。

③ ウーマンズ・マスターズ水泳競技大会(ウーマンズ・スイム・フェスティバル2015)

10月3日より4日までの期間、千葉県国際総合水泳場(千葉県習志野市)にて開催する。
競技 2,800人、イベント 600人の参加を予定する。

④ 日本マスターズ水泳長距離大会

11月1日 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学口論義運動公園屋内プール（愛知県日進市）にて愛知会場を開催する。

160人の参加、180種目を予定する。

11月7日より8日までの期間、町田市立室内プール（東京都町田市）にて東京会場を開催する。

610人の参加、640種目を予定する。

⑤ 日本マスターズ水泳スプリント選手権大会（ジャパンマスターズスプリント2015）

11月28日より29日までの期間、千葉県国際総合水泳場にて開催する。

3,200人の参加、6,400種目を予定する。

(4) 地域大会の奨励指導（同 第1項（2））

当協会が公認するマスターズ水泳競技会のうち、年間15会場へ大会運営の指導を予定する。

(5) 競技会および記録の公認（同 第1項（3））

年間95件の大会を公認する。また、公認大会での記録約140,000件を公認する。

(6) 国際大会の開催（同 第1項（4））

本年度の開催予定はない。

なお、今後の開催を視野に入れ16th FINA World Masters Championshipsの視察に1名を派遣する。

(7) 日本記録の公認および世界記録の公認申請（同 第1項（5））

公認大会で記録された日本記録を公認する。また、公認した記録のうち、世界記録を突破した記録を国際水泳連盟に公益財団法人日本水泳連盟を通じ世界記録公認申請を行う。

日本記録年間550件、世界記録申請年間60件を予定する。

(8) 機関誌および刊行物（同 第1項（6））

マスターズニュース（会報）を年4回発行し、登録チーム並びに関係団体へ配布する。また、年間の公認記録を集計し「50傑ランキング」を刊行する。

(9) 国内外の水泳関係団体との連携協力（同 第1項（7））

公益財団法人日本水泳連盟への加盟ならびに一般社団法人日本スイミングクラブ協会主催マスターズ水泳大会の公認ならびに協力をを行う。

国外公認大会へ参加する者へ、日本マスターズ水泳協会競技者登録証明書の発行を行う。

(10) 登録（同 第1項（8））

本年度3,000チーム、個人登録48,000人を予定する。

(11) その他（同 第1項（8））

公益法人制度に伴う、公益目的事業における財産額の支出を予定する。